

令和6年度 丹波篠山市立丹南中学校 学習や生活に関する調査結果について

(第1学年)

1学期に実施した丹波篠山市学力・生活習慣状況調査は、生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施しています。ここに本校の分析結果をまとめました。本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことを踏まえつつ、保護者や地域の皆様の理解と協力のもとに、適切に連携を図りながら、一層の指導上の工夫改善に努めますので、学校の教育活動に対してご支援いただきますようお願いいたします。

●国語

【目標値に達している項目】

- ・言葉の特徴や使い方に関する事項
—漢字を読む、文法・語句に関する事項
- ・話すこと・聞くこと
- ・読むこと
- ・情報の扱い方に関する事項

【課題のある項目】

- ・言葉の特徴や使い方に関する事項
—漢字を書く
- ・書くこと—文章を書く

漢字を書くこと、文章を書くこと以外のすべての項目において、全国平均と同程度もしくは目標値を上回っており、おおむね良好な状況です。問題の内容別に見ると、「インタビューの内容を聞き取る」「漢字を読む」「説明的文章の内容を読み取る」「文学的文章の内容を読み取る」といった項目は、目標値を大きく上回っており、満足できるといえます。一方、「漢字を書く」「文章を書く」は、目標値を下回る結果となっています。特に「文章を書く」においては、段落の役割を理解し指定の段落構成で書くことや、自分の考えを明確にして書くことに苦手があるようです。

対策としては、現在週に2回宿題として課している漢字ノートを継続するほか、授業や宿題等において文章を書く活動を積極的に取り入れることで、力をつけていこうと考えています。

●数学

【目標値に達している項目】

- ・数と計算
- ・図形
- ・変化と関係
- ・データの活用

【課題のある内容】

- ・整数の性質
- ・平面図形
- ・百分率

基礎の問題では目標値を4ポイント程度上回っています。しかし活用の問題は0.5ポイント下回っています。全体では目標値より、3ポイント上回っています。領域別に見ると、すべての項目で目標値を上回っており、「知識・技能」が定着していると考えられます。問題の内容別に見ると、「小数・分数の計算」「単位量あたりの大きさ」や「平均場合の数」といった項目は、目標値を大きく上回っており、満足できると言えます。一方、「整数の性質」「平面図形」「百分率」「データの活用」において課題が見られます。

対策としては、数学の専門用語についてその都度振り返ったり、考えを説明する活動を多く取り入れたりすることによって力の定着を図っていきます。

●生活習慣・学習習慣について

全体的におおむね良好な結果です。家族や友だちの支えがあると感じ、自己肯定感が高い生徒が多いです。「学級環境」のカテゴリーで、平均を特に上回っているのは、「いじめのサイン」「対人ストレス」の項目です。「クラスの友達からいじめの誘いを受けたことがありますか。」の質問に全員がないと答えています。一方で、平均をやや下回っているのは、「学級の規範意識」「学級の絆」の項目です。引き続き、いじめアンケートや教育相談を活用しながら安心して過ごせる環境と、学年団と授業担当で連携して落ち着いて学習に取り組める環境をつくっていきます。「自己認識」のカテゴリーでは、「充実感と向上心」が全国平均をやや上回っており、自分の夢や目標をもっている生徒が多いです。一方で、「感動体験」「他者からの評価」がやや下回っています。2学期の行事を通して、様々な体験をし、互いに認められる経験ができるように働きかけていきます。また、「社会性」のカテゴリーでは、「社会参画」の項目が全国平均を上回っています。地域で出会った人にあいさつをすることや地域行事への参加などでさらに向上させてほしいです。一方で「対話・話し合い」の項目では、全国平均をやや下回っていました。知識を受益するだけでなく、話し合うことで自らの考えが深まるという経験を積んだり、発言しやすい雰囲気醸成したりするなど日々の授業や生活の中でも工夫をしていきます。